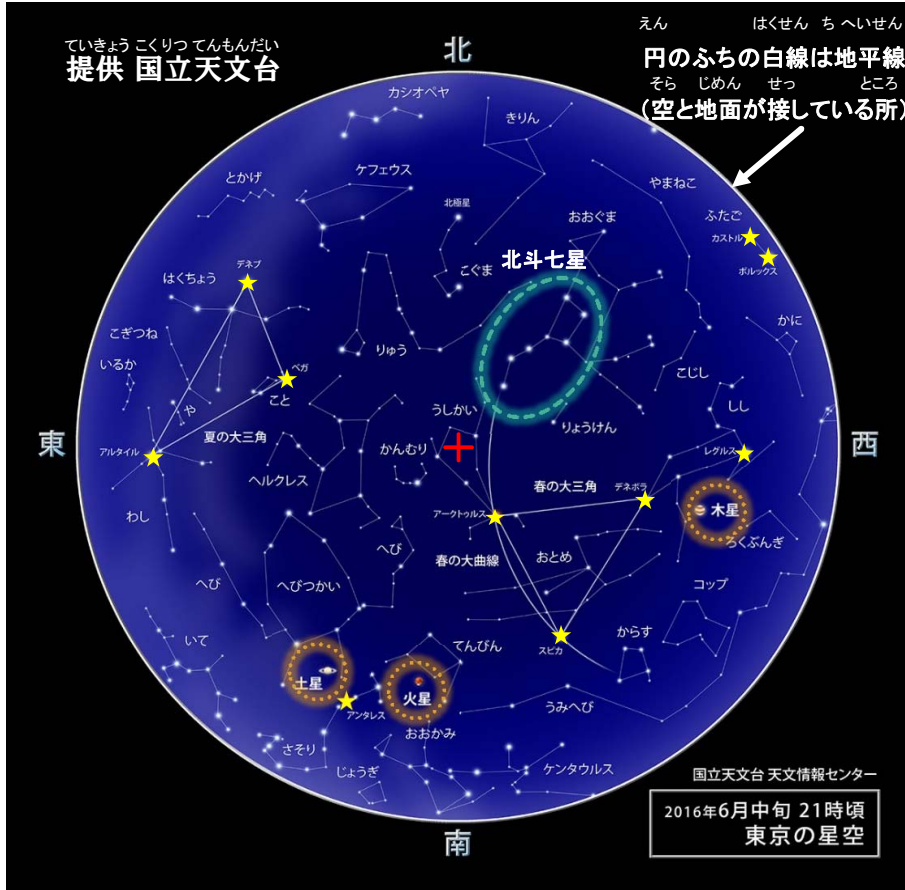


# さんぽっぽ ~景観だより~ ~第36号(28.6)~

## つゆよそら 梅雨の夜空

雨の多い時期になってきました。空は雲に覆われている時間が長くなりますが、夜、雲の向こうにはこのような空が広がっています。雲のない日、たまにはゆっくり星をながめてみませんか？



**図の見かた**

- +** ...天頂(=真上)
- ★** ...とくに明るい星
- ☉** ...惑星

あなたの知っている星座はありましたか？

星がたくさんあってよくわからない、という人は、まず★印の星を探してみましょう。それらを目印にすると、めあての星座を見つかりやすくなります。

の中の『惑星』とは、わたしたちが暮らす地球と同じように太陽の周りを回っている、きょうだいのような星のことです。左の図から、今の時期の夜は火星・木星・土星の3つが見られることがわかります。

※夜、外で星を見る時は、かならず大人の人に付き添ってもらいましょう。また、人や物につかないよう、常に周り(特に足元)に注意しましょう。

さが探してみよう ※図は、6月中旬の午後9時頃のものです。

**北斗七星**

今の時期の北斗七星は、このような形で、北の空高く見られます。また、矢印の星は1つに見えますが、実は、2つの星がごく近くで輝いています。昔のアラビアでは兵士の視力検査にこの星を使っていたそうです。

**夏の三大角**

3つの明るい星を結んでできる大きな三角形で、中を天の川が流れています。今の時期は夜9時ごろに東の空へ現れ、ゆっくり真上へ昇っていきます。織姫・彦星・天の川と、七夕にゆかりの深い星空でもあります。

### 薩摩川内市内の星に関わる風景

**寺山公園**

“ふるさと景観100選”の1つである「寺山公園」内には、星や宇宙について楽しく学習できる「せんだい宇宙館」があります。

**国立天文台VERA入来観測局**

入来町浦之名にある、国立天文台の研究のための施設です。“電波望遠鏡”(直径は20メートル!)という特別な装置があります。